

令和6年2月14日

めいりん

明倫小学校 学校だより 第34号

学校評議員会開催号

校長 武久隆弘

笑顔あふれる、学校生活！！



学校評議員さんから、

貴重なご意見をいただきました！！

～ 明倫小が、子どもたちが明るく楽しく過ごせる学びの舎となるように ～

12月～1月に行った児童アンケート・保護者アンケートなどをもとに、教職員による学校自己評価を実施しました。それらの結果を2月9日の授業参観後の学校評議員会で説明させていただき、評議員さんから、改善に向けての貴重なご意見・ご助言をいただきました。

【児童アンケート結果について】

児童の回答に係わっては、個々の回答結果以前に、「今回のアンケート回答を含め、タブレットによるものであったが、児童がタブレットに依存するのではなく、鉛筆・紙を使うこれまでの学習とハイブリッドであるべき。」「自己肯定感をさらに高め、自信をつけることができるような、指導・支援が大切。ネガティブからポジティブな発想への転換が肝要。」「社会の流れに沿って児童の思考回路もITC化され、思考力・判断力・表現力、特にコミュニケーション能力が落ちているように感じる。応用力がない。」「AIなどにより、自分で考える機会が減りつつある。今の時代、相手の発言の意味が理解できなかったり何をしたらいいのかが分からなかったりする児童が増えている。」といった、ご意見を多数いただきました。

個々の選択回答についても、「各回答の内容を分析すると、各回答結果の傾向が分かる気がする。」「特に、⑨あなたは、自分のよいところを知っていますか？」の設問に対する肯定的な回答が全体の1/4となっていることが気になる。」など、現在の児童像に対しての危惧、それに合わせた学校における指導・支援方法の必要性をいただきました。

【保護者アンケート結果について】

保護者アンケート全般については、「要求・要望が多すぎる。すべてを学校に丸投げする傾向は、いかがなものか。」「もっと各家庭において、責任をもって子育てをすべき。」とのストレートなご回答を開口一番いただきました。「④（保護者は）家庭や地域で問題が起こった時、学校にも相談していますか？」と⑥（学校は）保護者や地域と連携した学校づくりに、努めていますか？」の肯定的な回答率が他の設問より低いのは、裏表となっている。」「この回答結果は、必ずしも学校側だけに非があるのではなく、保護者のコミュニケーション力が、これまた情報社会化によって返って低下している部分もあるように感じる。」「保護者世代のコミュニケーション力が低下すれば、子どものコミュニケーション力も低下するのは必定。」「とのご意見もありました。「時代の流れの中で、児童のみならず保護者への配慮・支援を。」「特に児童に対しては、相談室等を充実して、話をじっくりと傾聴する機会を増やして欲しい。」とのお声もいただきました。学校だより33号でご紹介させていただいた「すてっぷルーム」開設についても、説明させていただきましたが、うまく運用できるようにとのエールも頂戴しました。



【裏面に続きます】

【学校自己評価について・まとめ】

学校評議員の皆様からは、教職員による学校自己評価（選択回答）もご覧いただいた上で、「学校の先生方の勤務内容は大変である。」との労いのお言葉もいただきました。さらに、「毎年同じ項目で評価を行い、その結果を検証して創意工夫した指導・支援を行っていることに、意義がある。」「数値目標を定めた上で検証し、有効的な手立てを立てていくとよい。」とのご意見をいただきました。

また、「家庭との連携なくして改善はないので、引き続き保護者の皆様に様々な角度からお子様のことを伝え、働きかけ、地域の皆様に対しても開かれた学校として連携して取り組んでいて欲しい。」とのことでした。

今回のアンケート結果（児童・保護者・学校自己評価）に対していただいたご意見・ご助言をさらに検証し、明倫小学校が、子どもたちが明るく楽しく過ごせる学びの舎となるよう、教職員一同、尽力させていただきたいと思います。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

学校評議員の皆様におかれましては、授業参観に引き続き、長時間にわたり貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。また、保護者の皆様におかれましても、アンケート回答にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

【地域の皆様へ】一部の自治会様をのぞき、保護者アンケートと児童アンケートについて掲載した「学校だより 29号・32号」については、地域回覧を行っていません。明倫小学校ホームページ（校長室の窓）にてご覧いただけますので、よろしければ表面QRコードをご利用の上、ご覧ください。

明倫まちフェスが、開催されました！！

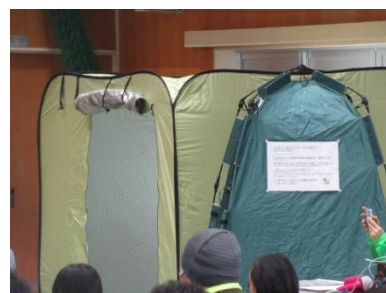
～ 日頃から、地域 みんなで防災意識を高めましょう ～

2月10日の午後、本校体育館で「明倫まちフェス」が開催されました。明照太鼓のみんなによる演奏で、オープニング。その後、三重大学川口教授による「わたしたちの地区防災計画」という演題の講演があり、地域防災上、日頃から私たちがどのような心構えをなすべきかについて拝聴させていただきました。



お孫さんが祖父母宅に行ったなら、「じーじ・ばーばのこの家は、耐震化されているの？」と質問し、耐震化されていなければ、「耐震化されいないので、もう来たくない。」と伝えましょう…など、実生活における防災のツボまで紹介してくださいました。これからいつ発生してもおかしくない、南海トラフ地震など、令和6年能登半島地震の実例も踏まえ、わかりやすいお話でした。

まち協事務局さんよりの、「まるごとハザードマップ」の紹介などの後、子どもたちもお楽しみコーナーや、起震車などの体験コーナーで、色々なことを楽しみながら学べたようでした。まち協スタッフの皆様、事前の企画から当日の準備・運営まで本当にお疲れさまでした。



【横断歩道設置について】 いつも朝の旗当番、ありがとうございます。当番日誌にて、「世義寺橋南詰（山添整形様前）の交差点に、横断歩道が欲しい。」とのご意見をいただいています。これまでも学校として、関係機関に要望を上げていたところです。しかし、「横断する歩行者用の待機スペースが確保できない箇所には、設置できない。」との回答を伊勢警察署よりいただいています。（一部例外的な箇所もありますが）今後さらなる安全な手立てをとっていただけるよう、引き続き要望をしていきたいと思っています。